

英語ニュース教材 8月休刊のお知らせ

8月1日～31日の1ヶ月間、英語ニュース教材の発行をお休みさせていただきます。

※6/1(土)、皆様への一斉送信メールでお知らせしました。

メールが届いていない方もいらっしゃると思うので、念のため、こちらでもお知らせします。

[1ヶ月の休刊の理由について]

普段、英語塾の講師をしながら、すきま時間に英語ニュース記事を読んで教材を執筆していますが、

今年度は、私が指導担任する受験生(特に高3)の人数が通常より多く、

8月の1ヶ月間は、朝早くから夜遅くまで夏期講習の授業が集中的に入っていました。

申し訳ないことに、ニュース教材作成の時間をほぼ取れそうにないため、発行をお休みさせていただきます。

いつもニュース教材を楽しみにしてくださっている先生方、生徒さんたちに、大変申し訳ありません。

ご理解いただけますよう、お願い申し上げます。

また、いつもニュース教材を使っていたに、重ねてお礼を申し上げます。

英語ニュース教材発行は、9月から、通常通り再開します。これからもよろしくお願いいたします。

[8月のニュース教材について]

★YouTubeの英語ニュース動画は、通常通り、週に1回発信します。授業で使っていただければ幸いです。

<https://www.youtube.com/@yukienglishnews9933>

★過去の教材を、こちらで販売しています。お使いいただければ幸いです。

https://yuki-tsubaki-news.com/back_number/

[1ヶ月の期間延長について]

クレジットカードで、数カ月先まで教材費をお支払いいただいている会員の先生方の、

期間延長ついて、ご案内させていただきます。

8月は休刊となるため、「6ヶ月コース」あるいは「12ヶ月コース」を申し込んでいただいている

すべての方の期間を、1ヶ月延長させていただきました。(6月1日の朝10時頃、処理が終わっています)

例えば、

★A先生:4/1～9/30の期間、小・中6ヶ月コースを申込み済み

→「5/1～10/31の期間、小・中6ヶ月コース」の会員ステータスに、変更手続き済みです。

★B先生:昨年11/1～今年10/31の期間、小・中・高12ヶ月コースを申込み済み

→「昨年12/1～今年11/30の期間、小・中・高12ヶ月コース」の会員ステータスに、変更手続き済みです。

※6ヶ月コース・12ヶ月コースで申し込んでいただいている方のうち、申込期間が8月以前に終わってしまう方や、

1ヶ月コースで申し込んでいただいている方は、ステータスの変更は特にありません。

ご自分の会員ステータス(いつから、いつまで申し込んだか?)が、

わからなくなってしまった方は、お手数ですが、私のメールアドレスの tsubaki.yuki1229@gmail.com

まで、個別にお問い合わせください。

2024 年 6 月第 1 週【6/7 発行】 高校生用教材

イギリスで兵役復活を検討、ロシア脅威によるヨーロッパ諸国の徴兵制の動き 模解と指導の手引き

教材のダウンロード期限について

毎週金曜・朝 7:00 に「ニュース教材を発行しました」のお知らせメールを全ての購読者様にお送りしています。
そのメールで「できるだけ 3 週間以内に教材をダウンロードして下さい。期間内にダウンロードできなかった場合は、お手数ですが、パスワードをお教えますので、お問合せ下さい」とお願いをしています。
万が一メールが届いていない方は、tsubaki.yuki1229@gmail.com にお問い合わせください。
また、Instagram でも、毎週金曜にお知らせを出しているのので、フォローをお願いします。
★椿由紀 Instagram https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/

この教材の使い方について

- (1) 教材は Word と PDF でリリースします。Word ファイルはお好きなように加工してください。不必要と思われる問題のカット(削除)、本文や設問のアレンジ差し替え、加筆修正、イラストや写真を加えるなど、自由です。
- (2) 「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい(逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい)」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。
- (3) 毎回、スペルや文法ミスがないか細心の注意を払っていますが、それでも間違いを発見した場合、後日 HP に訂正版を出しています。申し訳ありません。もしミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。
- (4) 全ての教材に暗唱文(重要な文法、使える表現を含むキーセンテンス3~5文)を付けています。「夢タン」の著者の木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道」と教えていただいたことをヒントに、2021年から始めました。文を暗唱してからニュースを読んでも、ニュースを読んでから仕上げて暗唱しても良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事・動画

<https://news.sky.com/story/sunak-says-he-will-bring-back-national-service-if-tories-win-general-election-13143184>
https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20240530_15/
<https://news.sky.com/story/refusing-mandatory-national-service-wont-lead-to-prison-home-secretary-says-after-tory-policy-launch-13143272>
<https://www.bbc.com/news/uk-68086188>
<https://www.bbc.com/news/uk-politics-69065695>
<https://www.bbc.com/news/articles/cpddxy9r4mdo>
<https://www.independent.co.uk/news/uk/prime-minister-britain-tories-milton-keynes-b2553999.html>
<https://www.bloomberg.com/news/articles/2024-05-25/sunak-pledges-mandatory-national-service-in-uk-election-gambit?embedded-checkout=true>
<https://www.telegraph.co.uk/politics/2024/05/26/labour-rejects-conservatives-national-service-plan/>
<https://www.eunews.it/en/2024/05/15/european-countries-back-to-discussing-compulsory-military-conscription-nine-still-have-it/>
<https://english.elpais.com/international/2024-05-13/germany-accelerates-debate-over-reintroduction-of-compulsory-military-service.html>
<https://www.dw.com/en/as-germany-mulls-military-service-return-what-about-europe/a-69036371>
<https://www.politico.eu/article/denmark-extend-military-service-women-conscription/>
★イギリス軍隊の最高責任者パトリックサンダース、今年春に日本の防衛庁にも来ていた
<https://www.mod.go.jp/en/article/2024/03/5e2a0d99f8f4f9143bc628de345eb666f107820c.html>

1 ページ 単語テスト

- 単語テストからスタートします。QR コードから音声を聴いて、聞こえた単語を書き取って下さい。
- 音声を使わず、先生が教室で声に出して読んでくださった方がもっと良いと思います。
(時間がなければ、この単語テストを生徒さんの宿題にして下さい。)
- 点線のところで切り取って下さい。上半分はテスト、下半分はテスト後、生徒さんに配って答え合わせしてもらって下さい。
- 単語テストは、「英語→日本語に直す」または「日本語→英語に直す」形が多いですが、この単語テストの形式は、「耳で聞き取った英単語の綴りを書き(Dictation)、かつ、意味を書く」というもので、英語脳と日本語脳の両方を活性化することをねらったものです。英語ニュース教材「茅ヶ崎方式 英語会」の 単語テストを参考にしました。

2 ページ

- Q1 A general election will be held on the day. / British people will elect Members of Parliament (MPs) to the House of Commons, and as a result, the leader of the ruling party will be Prime Minister.
(総選挙が行われます。与党の党首が首相となります。)
- Q2 the Conservative Party(Prime Minister Sunak is the leader of it), the Labor Party
- ★イギリスは保守党と労働党の二大政党制です。
 - ★イギリス英語では、labor の綴りは labour となります。今回はイギリスのニュースなので、イギリス英語を採用しました。
 - ★この機会に日本の与党 (LDP=Liberal Democratic Party) も言えて書けるようにしましょう。
- Q3 若者たちに国家奉仕の義務を導入すること
- Q4 18 歳の若者
- Q5 (1)a full-time placement in the Armed Forces or cyber defense for 12 months
(2)volunteering in their community for one weekend per month for one year
- Q6 サイバーセキュリティー (コンピューターウィルスなどからコンピューターを守るなどの技術)、兵站 (戦時の後方支援)、軍事物資の入手 (procurement)、市民対応活動
- ★参考ニュース記事: <https://www.bbc.com/japanese/articles/ck77nmnj8zvo>
- Q7 警察、消防署、国民保険サービス (病院などの医療機関)、慈善事業 (孤立しているお年寄りの方たちと一緒に行うもの)
- Q8 (1)It would help foster the "national spirit" to contribute to their community and their country.
自分たちの地域や国に貢献しようとする「国家的精神 (愛国心)」を育てる
(2)The service would provide "life-changing opportunities for young people".
人生を変えるような機会を若者たちに与える。
(3) It would help them to learn "real world skills". 実社会で役立つスキルを学べる

3 ページ

- Q9 (1)イギリスは素晴らしい国だが、若い世代は、自分たちにふさわしい機会や経験を持っていなかった。
※文末の they deserve は、直前の the opportunities or experience を修飾しています。
- (2) 日本人の若者にも、同じことが言えると思いますか？
※難しい質問かもしれませんが、例えば、 “In Japanese society, seniority is valued. The salaries are increased according to years of your service and age, and most of the young people are not given opportunities, no matter how skillful they are.” などの意見が出るかもしれません。
- Q10 No, there won't. The Home Secretary said nobody would go to jail for refusing to comply with National Service.

※今回のニュースと関係ありませんが、ボクサーのモハメド・アリ選手は、ベトナム戦争への徴兵（当時のアメリカは徴兵制がありました）を断ったため、禁固 5 年、罰金 1 万ドルを科せられ、チャンピオンベルトとボクシングのプロ・ライセンスも剥奪されました。国によっては、国民の義務を拒否すると、処罰があります。

Q11 25 億ポンド（約 5000 億円）の財源調達と実行の方法が不明だから（保守党はすでに経済を悪化させ、住宅ローンを高騰させているので、信用ができないということ）

Q12 ★病院の待ち時間を短くする ★経済を安定させる

※イギリスは誰でも無料で医療を受診することができるのが長所ですが、病院は常に混雑しており、待ち時間が長さが深刻な問題になっています。

★参考：外務省の HP <https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/europe/uk.html>

Q13 この新聞（The Guardian）では、労働党のキア・スターマー氏が 44.7%、保守党のスナク首相が 24.0%で、スナクさんが負けています。

4 ページ

Q1 2012 年に 110,000 人いた現役の兵士が、2023 年には 85,000 人に減っている。

Q2 Because of the increasing threat from Russia.

Q3 From 2003 to 2011, British army fought in Iraq war, and 179 personnel died.

※指導の手引（著者より）

サンダース將軍は「戦前の世代は戦争を知らないから、戦争の想定をして準備する必要がある」と言っています。私達日本人にとって、一般的な「戦前」とは「第二次世界大戦より前」（1945 年より前）という意味ですが、サンダース將軍は 1966 年生まれの 58 歳で、戦後生まれです。

そうすると、「戦前／戦後」の定義が、日本とイギリスで違うことがわかります。

イギリスは、第二次世界大戦以降も戦争をしています。例えば、1982 年のフォークランド戦争（イギリスとアルゼンチンの戦争）や、2000 年代になってからも続いていたイラク戦争などです。

Q4 市民軍（職業的な軍人でなく、平和な時は自分の仕事をし、戦時だけ武器を持って戦う一般市民による軍隊）

Q5 (1) Denmark, Norway, Sweden, Finland, and Iceland (2) Estonia, Latvia, and Lithuania

Q6 They are debating a return to compulsory military service. 徴兵制を復活させることを話し合っている。

Q7 The country will introduce female conscription.

Q8 Norway and Sweden have.

Q9 「戦争をしたいからでなく、戦争を避けるために、私達は武装します」

*英語で「抑止力」を deterrence と言います。

5 ページ

Q10 Russian's 2024 annexation of Crimea did.

※2014 年、ロシアはウクライナのクリミア半島を武力により制圧・併合しました。

Q11 Both countries border Russia, and have never abolished conscription.

※両国はロシアと国境が接しており、徴兵制を廃止したことはない。

（他のヨーロッパ諸国が、一度、徴兵制をやめて、最近になって復活させているのと対照的です）

Q12 It promised to be a neutral country.

Q13 To ensure the goals of self-defense and internal security. （自衛と安全保障のため）

Q14 South Korea, North Korea, Singapore, Taiwan and Vietnam do.

Q15 男性は 32 ヶ月、女性は 24 ヶ月

★I would choose to work in the Armed Forces because I think the experience will be beneficial for me in two regards.

First, working in the army teaches us discipline, how to follow rules, stay organized, and work well with others. These qualities are important for any future job.

Second, we can learn practical skills such as first aid, leadership, and handling difficult situations. These skills are beneficial in every situation.

★I would working in the police for the following two reasons.

First, we can learn about safety and how to protect ourselves and people around us. This knowledge can help us in emergencies.

Second, I think we can understand how the law works and see how police keep order in the community.

It's a valuable way to learn important skills and contribute to our community.

指導の手引

私はイギリス人でもありませんし、18 歳でもありませんが、もしこの制度が実現した場合、

「もし自分が 18 歳のイギリス人なら、どの任務を選ぼう!？」

と、勝手に妄想に胸を膨らませており、私のスクールの高校生達にも、同じ想像をして英語で話してほしいと思いました。

そこから構想して今回の教材を作りました。

先生方の授業でも、生徒さんたちのディスカッションの題材として活用していただけたら、とても嬉しく思います。

※しかし、大きな問題が一つあります。今回の選挙で、スナクさん率いる保守党は、労働党に負けるかもしれません。

国勢調査によると、14 年間の保守党政権が終わり、労働党がイギリスのトップに立つ可能性が濃厚のようです。

また、ヨーロッパ諸国の徴兵制についても、この機会に知識を深め、自分事として考えてほしいと思います。

※韓国の徴兵制については、2021 年 12 月第 1 週の教材「BTS 徴兵で揺れる韓国」で取り上げました。

韓国でも、「女性も徴兵すべきでは？」という議論があるようです。

★バックナンバー 購入ウェブサイト

https://yuki-tsubaki-news.com/high_back_number/